

普及事業成果報告書

<p>1. 普及事業の名称</p>	<p>Good Over 50's 暮らしのインタビュー (高齢期の住まいのロールモデル集)</p>
<p>2. 事業の概要 (実施期間/会場/講師等)</p>	<p>「令和 2 年度建築技術教育普及基金助成事業」の助成を受けて作成したオンラインセミナー「100 年人生くらしのデザイン」では、建築家 阿部勤氏の自邸を紹介する動画が、国内外の視聴者に好評を博し、26 万回以上の視聴回数と 2710 の高評価を誇っている。国内外の視聴者のコメントからも、豊かなシニア期を過ごす人々の住まいとくらしぶりへの興味と関心の高さが伺える。</p> <p>そこで本事業では、各界の専門家によるオンラインセミナーであった「100 年人生くらしのデザイン」をさらに発展させ、「Good Over 50's® 大人のくらし心地」として、高齢期のくらしと住まいのロールモデルとなるような事例を、一般の方々に取材することとした。</p> <p>シニア期を迎えると、ライフスタイルも変化し、それまでのくらしとは変わっていく。住まいも、ライフスタイルの変化にあわせて、建て替えや住み替えが行われていく。しかし、ただ住みやすい安全な住まいを選ぶのではなく、それぞれの生き方に応じて、これからの人生でやりたいことを体現するような住まいとなっている人々が増えている。住まいはただの安全な箱ではなく、その人の生き方を表現するメディアにもなっていると言える。</p> <p>今回は、以下の 3 事例を取材した。</p>

3. 事業の成果・効果

(対象者／参加者数／
成果物等)

①リノベした古民家旅館から、世界とつながる。

うだつや 女将 木村 丹穂さんは、大阪市西成区にある大正時代に建てられた町家建築をリノベーションして、往時の造作をそのままに戻すと共に、現代的なデザインの設えの民泊施設として甦らせた。また、自らもその離れに住み、昔ながらの下町での地域拠点として近隣の住民との交流も盛んに行っている。グラフィックデザイナーから宿泊施設の女将としての第二の人生を送る木村さんは、世界からこの宿を訪れる人々にとっての“おばあちゃんの家”として、これからも人々との交流を楽しみたいと言う。

②くらしを遊ぶ、自然を遊ぶ、“種まき小屋”。

Potting Shed オーナー 石原 恵さんは、軽井沢の自宅別荘の隣接地に、「Potting Shed（種まき小屋）」と名付けた小屋とハーブガーデンを開設。「暮らしを遊ぶ研究所」と銘打った「Potting Shed」は、庭で種から育てたカレンデュラなどハーブを使い、アロマのバームやミツロウラップを作るワークショップやイベントを開催して、自然に寄り添ったライフスタイルを提案している。植物の声を聞く自然の中でのくらしは、五感をフルに活用していると言う。

③セルフビルドのコンテナハウスで、日々ものづくり。

ステンシル作家 ホークス みよしさんとバッグデザイナー 関野 義久さんは、セルフビルドのコンテナハウスを、住まい兼アトリエとしている。四方に窓面を大きく取った設計のコンテナハウスは、四季折々の自然風景が一幅の絵のように感じられる。自然の中に佇むシンプルな住まいに生活が集約されたことで、互いのものづくりの仕事にも専念できる環境となっている。手作りのテーブルや椅子で毎日の食事を囲む、心豊かなくらしぶりを紹介した。

今回取材した 3 事例は、それぞれがこれからやりたいことと、住まいのあり方が同一のものとなっているのが特徴である。「Good Over 50's[®] 大人のくらし心地」は、今後も継続して取材を行い、100 年人生を迎えた現代のロールモデル集として発信していきたいと考えている。

以上 3 つの動画は、以下のケアリングデザイン YouTube 公式チャンネルで公開している。

ケアリングデザイン YouTube 公式チャンネル

<https://www.youtube.com/c/CaringDesign/>

①うだつ屋 女将 木村 丹穂さん／Good Over 50's® 大人の暮らし心地

<https://youtu.be/0gSA7oBXYrI>

②暮らしを遊ぶ 自然を遊ぶ “種まき小屋”／Potting Shed オーナー

石原 恵さん <https://youtu.be/LwaKyCgiXk8>

③セルフビルドのコンテナハウスで 日々ものづくり／ステンシル作家

ホークス みよしさん・バッグデザイナー 関野 義久さん

<https://youtu.be/wnADcsAIPE4>

以上